

ミュージカル

KANJIRO!

～本当は面白い二宮金次郎～

薪(柴)を背負い本を読む少年像、二宮金次郎とは？

作・作詞・演出

鈴木 聡

作曲・編曲・音楽監督

久米 大作

振付

新海 絵理子

2017年5月15日(月) 18:00開場
18:30開演

練馬文化センター(小ホール)

※練馬駅北口より1分

全席指定 5,000円(当日500円増)3/15オンセール

～チケット取扱い～

・Confetti(カンフェティ)
<http://confetti-web.com>
0120-240-540(平日10-18時)
・わらび座関東事務所
048-286-8730
・練馬文化センター

ミュージカル KANJIRO!

～本当は面白い二宮金次郎～

上演時間：90分



銅像のことしが知らなくても 思いっきり楽しめる金次郎の物語！

作・作詞・演出
鈴木聡より

二宮金次郎と聞いて思い浮かべるイメージはなんでしょう？「薪を背負って本を読む銅像！」そうですね。「苦勞した人！」そうですね。「真面目な人！」そうですね。あとは？「???」。そうなんです。おそらく多くの皆さんにとって二宮金次郎について知ってることは例の銅像のみ。いつごろ活躍した人か、だいたい、どんな活躍をした人かも知らない。私もそうでした。物書きのくせにお恥ずかしい。どうもあの銅像のせいなのか、真面目で堅物な人と思いついでしまつて、お笑いや遊びが大好きな自分とは無縁な人と勝手に決めつけていたのです。ところがこのたび、この作品を書くために金次郎さんのことを調べて驚いた。なんと面白い、魅力的な人でした。

二宮金次郎（1784年～1856年）は小田原の生まれ。金次郎（金治郎）は通称で大人になつてから尊徳と名乗りました。この人の業績をおおざっぱに一言で言うくと、日本中の村おこし。大飢饉や天災が全国を襲つた時代、なんと600もの村の再興に関わつたのです。机上のプランを立てただけではありません。多くの地域に足を運んで土地や村の有り様を調べ、人々と絆を結び、それぞれの村に合った方法を考え抜いて、



再興のために汗を流したのです。イメージとは違つて自然体で豪快な人物だったようです。俳句をたしなむ風流なところもあれば、落ち込んで行方不明になるような人間味もある。天地・宇宙を見据えた広大な思想。科学・合理の精神に基づく技術論。さらに人情を深く理解し皆が気持ちよく働ける環境を整え……。もうね、この人が現代に生きていたら世界中から引っ張りだこのスーパー経営コンサルタントになつていたと思います。技術、農業、経営、教育、政治……。さまざまな分野に才を発揮した江戸時代のミケランジェロみたいな……。そんな金次郎の人物と生き方を笑いと音楽たっぷりに描くのが「KANJIRO!」です。「将来、どんな人になろうかな。どんな仕事をしようかな」と考え中の学生さんも、「村おこしや町おこしのことが気になるな。仕事のアイデアがないかなあ」という大人の皆さんも、人生や仕事のヒントがいっぱい見つかると思います。芝居が始まる前は銅像のことしが知らなくても、観終わったときには「金次郎、すげー！」となつてること間違いなし。是非、是非、観に来てください。

再興のために汗を流したのです。イメージとは違つて自然体で豪快な人物だったようです。俳句をたしなむ風流なところもあれば、落ち込んで行方不明になるような人間味もある。天地・宇宙を見据えた広大な思想。科学・合理の精神に基づく技術論。さらに人情を深く理解し皆が気持ちよく働ける環境を整え……。もうね、この人が現代に生きていたら世界中から引っ張りだこのスーパー経営コンサルタントになつていたと思います。技術、農業、経営、教育、政治……。さまざまな分野に才を発揮した江戸時代のミケランジェロみたいな……。そんな金次郎の人物と生き方を笑いと音楽たっぷりに描くのが「KANJIRO!」です。「将来、どんな人になろうかな。どんな仕事をしようかな」と考え中の学生さんも、「村おこしや町おこしのことが気になるな。仕事のアイデアがないかなあ」という大人の皆さんも、人生や仕事のヒントがいっぱい見つかると思います。芝居が始まる前は銅像のことしが知らなくても、観終わったときには「金次郎、すげー！」となつてること間違いなし。是非、是非、観に来てください。

鈴木聡（すずき・さとし）1959年東京都生まれ。早稲田大学在学中「劇団であとろ'50」にて脚本・演出を担当。卒業後、博報堂でコピーライターとして活躍。1984年、劇団「サラリーマン新劇劇隊（現ラッパ屋）」を旗揚げ。現在は演劇、映画、テレビドラマ、新作落語まで幅広く執筆。第41回伊國屋演劇賞個人賞、第15回鶴屋南北戯曲賞を受賞。主な作品にNHK連続テレビ小説『あすか』『瞳』、グループ・バース『八百屋のお告げ』、青年座『をんな善哉』『フォーカード』、バルコ『恋と音楽』シリーズなど。わらび座作品では、2015年度わらび劇場ミュージカル「為三さん!」を手がける。

わらび座とは



わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、5つの公演・グループで年間約1,000回の上演を行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップの豊富な実績があります。また秋田県仙北市には劇団の本拠地として「あきた芸術村」を展開。常設公演を行う「わらび劇場」を中核としながら、温泉、ホテル、地ビール、体験工房、農園等からなる国内オンリー1の複合文化施設として高い評価をいただいています。

わらび座公演営業部

〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430
TEL.0187-44-3316 FAX.0187-44-3318

Mail info@warabi.or.jp

WEB <http://www.warabi.jp/>

わらび座

お問い合わせ